

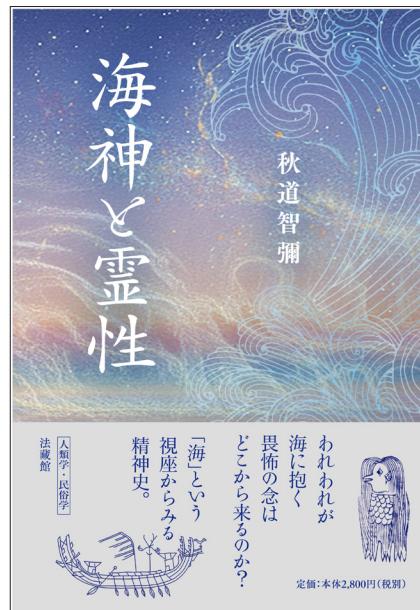
海と霊性

秋道智彌 [著]

(国立民族学博物館名誉教授)

四六判・上製カバー・貞・本体二、八〇〇円+税

2026年1月刊行



〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

われわれが海に抱く恐怖の念はどこから来るのか？ 海神信仰を軸に、日本、東アジア、オセアニアの神話・思想・民俗等を横断的に考察。漂着物、船霊、媽祖、龍宮など多様な素材を読み解き、人類の精神史を海から構築する。

【目次】

はじめに——海神と霊性を問う	6 漂着モデルと海神
1 人類の思想史における海神と霊性	6 葬制の外延——死穢と災因
2 SDGsが看過した問題	6 漂着モデルと海神
題	6 葬制の外延——死穢と災因
第1章 海の信仰	第3章 海と占い
1 日本神話の神がみと海	1 先史・古代の占い
2 航海安全の神——宗像三女神・綿津見神・住吉神	2 古代の船霊信仰と船
3 觀音信仰と海	第4章 船霊・オナリ・媽祖
4 恵比須神と民俗	1 船霊信仰の民俗
第2章 漂着物と海神	2 船起こしと起舟
1 漂着物と異界からのメッセージ	3 オナリ神と琉球列島
2 椰子の実と「海上の道」	4 媚祖信仰
3 漂着クジラと海の恩恵・災禍	さいごに——持続する海神信仰
4 漂着物と神	第5章 海神の図像学
5 江戸後期の来訪神と吉兆	1 神がみの形象化モデル
	2 オセアニアの海神と形象
	3 龍信仰と龍神の図像
	4 古代ギリシャと古代印度の海神
	第6章 葬制と海
	1 葬制研究の視野
	2 洞穴(窟)葬の展開
	3 懸崖葬と積石塚
	4 船棺葬・船葬墓・ストーソンシップ(石船)葬
	5 水葬と船(棺)葬
	文献一覧/索引
	謝辞
	第10章 おわりに
	1 海の神と霊性論の今後

【著者略歴】

1946年京都府生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東京大学大学院理学系研究科（人類学専攻）博士後期課程単位修得満期退学。国立民族学博物館教授、総合研究大学院大学併任教授、総合地球環境学研究所教授を経て、現在、国立民族学博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、総合地球環境学研究所名誉教授。また、山梨県立富士山世界遺産センター所長を務める。理学博士。専門は生態人類学、海洋民族学、民族生物学。近年の主な著書・編著に、『魚と人の文明論』(臨川書店、2017年)、『交錯する世界 自然と文化の再構築—フィリップ・デスコラとの対話』(編著、京都大学学術出版会、2018年)、『たたきの人類史』(玉川大学出版部、2019年)、『絶滅危惧種を喰らう』(共編著、勉誠出版、2020年)、『海と陸のはざま—アジア・太平洋の干渴文化を探る』(共編著、勉誠社、2025年)などがある。その他、著書・編著多数。

注文書

(書店名)

ご担当 様 冊

海 神 と 霊 性
法 藏 館
二、八〇〇円 + 税
秋道智彌 [著]

ご住所

お電話

ISBN978-4-8318-5745-3 C1039

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

人類学・民俗学